

学校教育目標「言葉を育て、心を育て、人を育てる」の具現化を目指した自己評価項目

北九州市立熊西中学校

No.	中長期目標 (重点目標)	短期目標 (重点目標)	指標 (具体的な方策)	評価 基準	教職員 自己評価	保護者 アンケート	生徒 意識調査
1	「言葉」の力を高め、言語活動を充実させ、学習指導の工夫・改善に努める。	授業を通して「言葉」の力を高める。	「授業のまとめ」、ノートなどを自分自身の言葉でまとめられるよう指導する。	Aいつもしている B時々している Cしないことが多い Dしない	生徒の言葉でまとめ「授業のまとめ」、生徒の思考を深める「ノート指導」を行った。	子どもさんは、家庭で学習をしている。 A毎日2時間以上 B毎日1時間以上 C毎日30分以上 Dしない	自分の思いや考えをよく発言している。 学習の足跡がよく分かるように、ノートに書いている。
		「話す・聞く」「書く」活動を重視し、伝え合う力を高める。	校内弁論大会、作文活動等に積極的に取り組むよう指導する。	Aいつもしている B時々している Cしないことが多い Dしない	校内弁論大会、授業等を通して、「話す・聞く」「書く」指導を行った。	家庭で、子どもさんと話している。	校内弁論大会等で、友達に伝わるように話したり、友達の話をよく聞いたりしている。 自分の思いや考えが伝わるように、文章を書いている。
		読書活動を重視することにより、読書に親しむ態度を育てる。	「全校一斉朝の10分間読書」「読書集会」等に主体的に取り組むよう指導する。	A 2週間に1冊以上 B 1か月に1冊程度 C 3か月に1冊程度 D本を読まない	「朝の10分間読書」等、読書推進の指導を行った。	子どもさんは、家庭で読書をしている。	本を自主的に読んでいる。
2	生徒の心の声を「聴く」ことを重視し、生徒指導や道徳教育を充実する。	「聴く」ことを重視し、教育相談活動を積極的に推進する。	教育相談週間やあらゆる機会を通じて、生徒理解に努める。	Aいつもしている B時々何か問題が生じた時にしている Cしないことが多い Dしない	教育相談週間やあらゆる機会を通じて、生徒理解に努めた。	子どもさんと、人間としての生き方にかかわる対話をしている	自分の思いや考えを、よく先生や友達に話している。
		全校集会や道徳の時間等を通して、生徒の心を耕す。	毎月の全校集会、毎週の道徳の時間等を、生徒の心に響くものにする。	Aいつもしている B時々自分からする C注意されるとする Dしない	毎月の全校集会や、毎週の道徳の時間等を通して、生徒の心に響く指導をした。		全校集会や道徳の時間等を通して、自己の生き方を振り返っている。
		清掃や学習・生活規律の指導を通して、互いを思いやる生徒を育てる。	毎日の掃除をきちんと行うとともに、学習・生活ルールを守るよう指導する。	A自分から進んではいる B時々自分からする C注意されるとする Dしない	毎日の清掃指導や学習・生活規律の指導を行った。	子どもさんは、身なりをきちんとし、家で掃除をしている。	学習・生活ルールを守り、毎日の掃除を自主的にしている。
3	家庭や地域との連携を通して、生徒の「言葉」と「心」を磨き、生きる力を育てる。	校長室だよりや学年・学級通信等により、学校の情報提供を行う。	校長室だよりや学年・学級通信を通して、学校の情報を発信する。	Aいつも読んでいる B時々読んでいる C読まないことのほうが多い D読まない	通信やホームページを通して、学校・学年・学級の情報を発信した。	学校ホームページや学年・学級通信などに目を通している。	校長室だよりや学年・学級だよりなどを読んでいる。
		学校のホームページの充実を図る。	学校のホームページを隔週で更新する。	A自分から進んではいる B時々自分からする C言われるとする Dしない	生徒が自主的に挨拶ができるよう指導した。	子どもさんは、家庭で挨拶をしている。	自主的に挨拶をしている。
		挨拶や言葉遣い等の指導を通して、言葉を大切にする生徒を育てる。	自主的な挨拶や、適切な言葉遣いができるよう指導する。	A自分から進んではいる B時々自分からする C言われるとする Dしない	適切な言葉遣いができるよう指導した。	家で、子どもさんは適切な言葉遣いをしている。	適切な言葉遣いをしている。